

## 【短報】函館産ヘリトゲコブスジコガネの記録

ヘリトゲコブスジコガネ *Trox mandli* Balthasar, 1931 は、トランスバイカル地方の Werchne Udinsk (= Verkhne-Undinskoye, Chitinskaya Oblast') 産で記載され、後に Balthasar (1936) によって沿海州の Wladiwostok (= Vladivostok) から記録された中型のコブスジコガネである。日本の札幌産で記載された *Trox nishijimai* Nakane et Tsukamoto, 1955 は、Nikolaev (1977) によって本種の下位同物異名とされた。本種は、コブスジコガネ類の採集法がわかった現在では、日本列島の北海道から九州の広範囲で分布が確認されているが、産地はいくぶん局所的である。北海道の渡島半島からは、堀 (2009) によって本種の採集記録 4 例が掲げられ、早春に得られることも併せて報告されている。筆者の一人、佐藤は 1960 年代に北海道函館市付近で甲虫類を採集し報告したが、その中に本種が含まれていたののでここに報告し既報の訂正としたい。

1 頭、北海道函館市函館山, 5. V. 1964, 佐藤公治採集 (西川保存)。

上記標本には、“*Niphades variegatus* Roelofs クロコブゾウムシ”の同定ラベルが添付され、その名称で報告 (佐藤, 1967) されている。また、晴れの天候下、午前 10:30–11:00 の間に葉上で採集した旨が記された補助ラベルが添付されている。葉上から採集されたことは事実ではあるが、本種の本来の生息場所ではないであろう。青山 (1940) は、札幌市丸山原生林のコブスジコガネ 5 種について報告し、「札幌附近の鳥は多く此の山に集合し、冬季に於いては食物の欠亡等に依り死亡するものが多くこの死骸が最も *Trox* の採集に適している。…積極的に鳥の死體を一箇所に集めて意外の成績を得た」と採集法を記しているが、上記個体の採集地の函館山は以前からカラスの集団が棲みついていることで有名である。*Trox* 属の種は、死骸の羽毛、爪、鱗、嘴などの角質組織のケラチンを主な食餌としていると考えられている (Clark & Grebennikov, 2005) ことから、函館山の本種の個体群もカラスなどの死骸のそれらの部分を主な食餌としていると思われる。

## 引用文献

- 青山信一, 1940. 札幌近傍産 *Trox* 属に就いて. 昆虫界, 8: 160–163.  
 Balthasar, V., 1931. Sechs neue *Trox*-Arten aus dem Ussurigebiet und Transbaikalien. (10. Beitrag zur Kenntnis der Scarabaeidae des palaearktischen Faunagebietes.) Entomologische Blätter für Biologie und Systematik der Käfer, 27: 128–134.

Balthasar, V., 1936. Monographie der Subfam. Troginae der palaearktischen Region. (33. Beitrag zur Kenntnis der palaearktischen Scarabaeiden.) In: Festschrift zum 60. Geburtstag von Professor Dr. Embrik Strand, Riga, 1, pp. 407–459.

Clark, H. S. & V. V. Grebennikov, 2005. Scarabaeoidea Latreille, 1802. In: Beutel, R. G., & R. A. B. Leschen (eds.), Handbook of Zoology, A Natural History of the Phyla of the Animal Kingdom, 4 Arthropoda: Insecta, part 38, Coleoptera, Beetles, 1: Morphology and Systematics (Archostemata, Adephaga, Myxophaga, Polyphaga partim), pp. 367–425. Walter de Gruyter, Berlin.

堀 繁久, 2009. 北海道産 *Trox* 数種の記録. jezoensis, (35): 53–55.

中根猛彦・塚本珪一, 1955. 日本産コブスジコガネの分類. あきつ, 4: 85–92.

Nikolajev, G. V., 1977. Notes on synonymy of lamellicorn beetles from Mongolia and adjacent territories. In Kerzhner, I. M. (ed.), Nasekomye Mongolii, 5, pp. 268–271. Nauka, Leningrad.

佐藤公治, 1967. 最近の函館附近の鞘翅目. 生物研究部々報, 函館西高校生物部, (15 [for 1966]): 20–39.

(〒 040-0065 函館市豊川町 19-15 佐藤公治)

(〒 243-0402 海老名市柏ヶ谷 1112-16

西川正明)

## 【短報】天竜川河川敷におけるババマルドロムシの確認記録

マルドロムシ科 Georissidae は体長 1.2–1.9 mm 程度 (日本産) の微小な甲虫で、世界から 1 属 3 亜属 77 種、日本からは 1 属 3 亜属 7 種が記録されている (Hansen, 1999, 2004)。成虫は水辺の砂泥上で発見されたり、灯火に飛来した個体などが得られているが、日本では詳しい生態は判っていない。静岡県からはシワムネマルドロムシ *Georissus (Neogeorissus) kurosawai* Nakane, 1966 とヤマトマルドロムシ *G. (N.) japonicus* M. Satô, 1972 の 2 種が確認されていて、いずれも県レッドリストの情報不足 (DD) に選定されている (多比良, 2004)。

ババマルドロムシ *Georissus (Georissus) babai* M. Satô, 1970 は、新潟県笹口浜および中条 (いずれも現胎内市) で採集された標本を基に記載された種で (Satô, 1970), 原記載以後、追加の標本は得られていないようである (Satô, 1972; 佐藤, 1981, 1985; 吉富私信)。筆者の一人、石川は静岡県天竜川においてババマルドロムシと同定される個体を採集しているので報告する。

採集記録: 5exs., 18–19. V. 2009, 静岡県浜松市南区鶴見町天竜川右岸河川敷, 石川 均・池上宙志